

NCCU NEWS

組合員のみなさんへ

感染防止対策第 21 号

2020年7月30日発行

UA ゼンセン日本介護クラフトユニオン

発行人 事務局長 染川 朗

編集人 政策部門長 村上 久美子

連絡先 Tel 03-5730-9381

Fax 03-5730-9382

「布製マスクよりも 積極的なPCR検査を！」 NCCU政治顧問が国に見直しを求める！」

7月28日（火）、NCCU政治顧問の柚木道義衆議院議員は、同日行われる「感染実態解明 野党合同ヒアリング」に向け、介護現場の実態と課題を把握するためNCCUを訪問、情報共有を行いました。

現在国は、新型コロナウイルス感染予防のため、追加で8000万枚の布製マスクを介護施設等に配布する方針を示しています。

しかし、介護現場からは

「布製マスクでは、ウイルス感染を防ぐことができない」

「洗う必要があり、手間がかかってしまう」

「不織布マスクが手に入るようになったので、布製マスクは使っていない」

という声が届いています。

また、PCR検査について、

「濃厚接触者は公費（無料）で受けられるのに、そうでない場合は1件あたり2万2,000円もの検査費用を介護事業者が持ち出しで行っている」

という実態も明らかになっています。

NCCUは、介護現場の現状を踏まえたうえで

「布製マスクは、もう必要ない。それより、ご利用者や介護従事者に濃厚接触者が一人でも発生したら、関係する介護従事者全員に対してPCR検査を実施し、その費用は公費としてほしい」

と訴えました。

NCCUと情報共有を行った柚木議員は、その後「第9回感染実態解明 野党合同ヒアリング」に出席。組合員の声を代弁し、厚生労働省に次のように意見しました。

